



海と文化の交差点・共創のまち浜田

広報

はまだ

2005

1/15日号

No.1372

編集・発行 浜田市総務課 ☎0855-22-2612

http://www.city.hamada.shimane.jp
E-mail: info@city.hamada.shimane.jp

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地

浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町 合併協定調印式

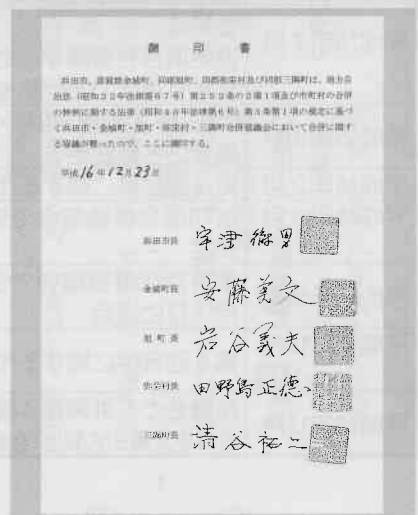


12月23日(祝)、浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町の合併協定調印式が県立大学講堂で行われました。

5市町村長が合併協定書に調印し、立会人を務めた澄田知事を中心に5市町村長が固い握手を交わし、新「浜田市」誕生に向け決意を新たにしました。

主な内容

- ◇ 5市町村長が合併協定書に調印…………… 2、3
- ◇ ちょっとだけ人権について考えてみませんか②…………… 4
- ◇ 市役所の申告相談、浜田税務署からのお知らせ…………… 7
- ◇ 20歳になったら国民年金を…………… 8
- ◇ 島根県立大学ニュースvol.16…………… 9
- ◇ 子育て&健康ひろば…………… 10~12



5市町村長が合併協定書に調印 平成17年10月1日に新「浜田市」が誕生します。

浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町の合併協定調印式が12月23日、島根県立大学講堂で開催され、立会人である澄田信義県知事や合併協議会委員らが見守る中、5市町村長は43の協定項目が記された合併協定書に調印しました。

式典には5市町村長、市町村協議会議員など関係者約250人が出席しました。

冒頭、合併協議会幹事長の坂平弘昭浜田市助役がこれまでの合併協議の経過を報告しました。



続いて、5市町村長が合併の方式（新設合併）や期日（平成17年10月1日）、新市まちづくり計画（新市建設計画）など、



これまでの合併協議会で全会一致により確認された43項目を盛り込んだ協定書に調印した後、立会人を務めた澄田信義県知事や5市町村協議会議長らが署名しました。

調印後、澄田知事を中心に5市町村長が固い握手を交わし、県西部の中核都市となる新「浜田市」誕生に向けた決意を新たにしました。

その後、5市町村長を代表して、合併協議会会長である



宇津徹男浜田市長が「当圏域の合併では、全国に先駆けた「自治区（浜田那賀方式）」構想を打ち出し、合併後のまちづくりが全国から注目されている。それぞれの歴史と伝統・文化を継承しながら、お互いが知恵を出し合い、住民の皆さまが、自ら考え、自ら行動し、地域の個性を活かしながら、また、それを認め合いながら新市を形成していかなければならない。10年後、20年後、そして50年後に「本当にあの時合併していたら良かった」と思えるような、そして、どこに住んでも「ここに住んでいて良かった」と言っていたらいいようなまちづくりを進めていきたい。」とあいさつしました。

続いて、来賓

合併協定調印までの経過

平成13年7月	第1回浜田地区市町村合併問題合同研究会開催 市町村合併について合同で調査研究 (平成14年7月まで11回開催)
平成13年12月 ～ 平成14年2月	第1回合併に関する市長懇話会開催
平成14年7月	第1回浜田那賀合併検討協議会開催 合併問題を本格的に検討するための任意協議会(平成15年3月まで10回開催)
平成14年11月	第2回合併に関する市長懇話会開催
平成15年3月	第1回浜田市・金城町・旭町・弥栄村任意合併協議会開催 (平成15年6月まで5回開催)
平成15年7月	第1回浜田市・金城町・旭町・弥栄村合併協議会開催 協定項目を審議するための法定協議会(平成16年11月まで25回開催)
平成15年10月	浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町合併協議会に名称変更
平成16年2月	第3回合併に関する市長懇話会開催
平成16年8月	第18回合併協議会で新市名称を「浜田市」に決定
平成16年9月	第21回合併協議会で合併期日を平成17年10月1日に決定
平成16年10月 ～11月	第4回合併に関する市長懇話会開催
平成16年12月	市議会で合併関連4議案を可決 合併協定調印式開催(島根県立大学 講堂)

を代表して澄田知事から、「新浜田市の新市建設計画においては、「青い海 緑の大地 人が輝き文化のかおるまち」をまちづくりの理念とし、この地域の持つ都市環境、農山漁村の自然、歴史文化などの豊富な資源



を活かして、二十一世紀に飛躍する、住民主体の新しいまちの実現を目指す」とされている。とりわけ、旧市町村ごとに浜田那賀方式の自治区を設置され、旧市町村ごとのきめ細やかなまちづくりを進めるとともに、新浜田が一体となって連帯感を深めていくまちづくりの仕組みを提唱されているところであり、今後は、この計画が着実に実行され、この地域の特色を生かしたまちづくりが行われることを確信している。」と祝辞がありました。

第4回「市町村合併に関する市長懇話会」での主な意見と回答

10月下旬から11月中旬の間、第4回「市町村合併に関する市長懇話会」を市内9地区他で開催し、合計443人の皆さんに出席いただきました。その中から、主な意見と回答を紹介します。

自治区制について

Q. 自治区制度は、浜田那賀独自の制度なのか。

A. 那賀郡から合併するに際し、周辺部が寂れないよう自治区を置くことを要望された。国の法改正で自治区制度ができたが、浜田那賀方式として国の制度より旧市町村単位で予算や職員を残し、施策の継続性や地域の文化伝統を尊重する制度とした。

Q. 自治区や区長は不要、また設置期間10年間は長いのではないかと声があるが。

A. 自治区は、安心して暮らせる仕組みづくりで、本来お金の力からないもの。全国初なので、いい仕組みができれば10年以上続けたい。

Q. 旧市町村単位に自治区を置き、自治区ごとに事業が行われると、自治区間の格差が生じるのではないかと。

A. 自分の地域に対する自治意識が大切で、中心は周辺のことを考え、周辺は中心のことを考え、お互い思いやりを持って素晴らしい市にしていきたい。自治区間の格差の問題は、新市議会・市長がバランスを調整する。

地域協議会について

Q. 地域協議会は必要なのか。

A. 地域協議会は、地域づくりの自主的な取り組みを推進し、自治区の政策に反映させるものであり、住民参加のまちづくりには必要と考える。

Q. 浜田自治区での地域協議会と自治会や議員とのつながり、仕組みなどはどうなるのか。

A. 浜田は、基本的には今までと何も変わらない。地域協議会は、自治会などから推薦された委員から構成される。条例に基づき地域協議会を設置

することにより、むしろ住民自治が質的にアップされる。また、地域協議会と議会は屋上屋下にならないように、新市で整理する。

Q. 浜田自治区は大きいので、分割し地域ごとに地域協議会を設置しないのか。

A. 浜田は地区単位に自治区を置くことも考えたが、他町村と協議の結果、最終的には旧市町村単位に設置することになった。

議員報酬について

Q. 町村より高い浜田市に合わせるのをおかしい。市民の感覚と離れている。

A. 報酬小委員会の報告は現行浜田市の額。市議会では今まで12年間アップを自粛しており、本会議の日数は町村議会の4倍、町村では支給される日当も出ていない。住民の皆さんにも理解していただきたい。市民の思いも分かるので、議会にも受け止めてもらいたい。

新市建設計画について

Q. 投資的経費の自治区分配の

根拠は。例えば人口比ならもっと浜田が多いはず。

A. 協議の中で、投資的経費について現在の8割の事業を確保する計画とした。これを標準財政規模3、事業実績7の割合で配分した。合併によりはじめてできる事業もあり、また中心市は合併のメリットを受けるので、その分周辺町村に配慮した。

Q. 難視聴地区のCATV整備はどうなるのか。市街地より周辺部から進めて欲しい。三隅町と一体化するのか。

A. CATVは難視聴だけでなく地上波デジタルにも対応。三隅町は公営で17年から。浜田は三セクで16年7月から。採算性もあり市街地から取り組んでいるが、平成19年度までには完了する。統合は10年以内を考えたい。行政情報については同じものを放送するようになりたい。

Q. 浜田市の防災無線が聞こえない。各戸に受信機を設置できないか。

A. 防災無線については、合併後、1年以内に統合計画を作成するが、天候が悪い時など聞きづらい限界がある。CATVでも防災情報を流している。携帯電話の技術革新も進んでおり、防災無線やCATV

V以外も研究してみたい。

Q. 市役所の駐車場問題は。A. 現在点在している国の機関、事務所を合同庁舎に集約するシビックコア事業で、地下駐車場を整備する。しかし、すべてにはできないので、合併までに旧市民会館を解体し仮駐車場にする予定。

Q. 合併後の無医地区対策は。A. 政策調整枠でへき地医療対策があり、新市になって協議していきたい。

Q. 住民自治組織の育成強化は良いことだが少子高齢化が進む中での見直しは。A. イメージだが各団体が集まり、まちづくり推進委員会を設置し住民が計画を立案。自治区ごとにまちづくり会議を設置し各自治区で特徴を出すことを検討中。

Q. 自治区制は地方分権の流れに沿ったものと思う。この合併で中山間地域の農業農村振興が環境や食料問題の解決につながるのでは。A. 合併が目的ではなく、合併からスタートであると認識している。合併後、中山間地域が多くなり、稲作が基幹産業となり、各自治区に支援組織をつくり自立をめざす。

(市町村合併推進室)

ちよつとだけ人権について考えてみませんか②

平成16年度

浜田市人権作品コンクール入賞作品決まる

教育委員会では、人権教育・啓発事業の一環として、小・中学校、一般の皆さんから作文・ポスター・標語を募集しました。たくさん応募があり、い

ずれも優れた作品でした。審査の結果、次の作品を優秀作品として、昨年12月10日に浜田公民館において表彰式を行いました。

入賞者

学校 氏名(敬称略)

【ポスターの部】

☆最優秀賞

一中3年 小松原那奈

☆優秀賞

なお、これらの入賞作品とポスターを、1月27日まで市役所1階市民ロビーで展示中です。また、1月28日から2月13日まで、浜田市世界こども美術館において展示します。ぜひご覧ください。



最優秀賞ポスター作品

一中3年 小松原那奈

【作文の部】

☆最優秀賞

石見小6年 渡津 睦

二中3年 東方 仁美

原井小5年 梅津 達也

原井小5年 内藤 文香

松原小6年 山本沙也加

周布小6年 江尾 理紗

周布小5年 宮本 由妃

【標語の部】

☆優秀賞

住所 氏名(敬称略)

人権に 支え守られ 老の坂

内村町 浅原 フサ

さみしげな 背中に一声

国分町 上部 朱美

“ねえ、あそぼう”

国分町 木村 文明

人権は 遠くでなくて 吾が隣

浅井町 仲間だヨ

気づいてヨ

僕たち同じ

認め愛 助け合う愛 築く愛

上府町 志田尾美和子

やさしさに

差別をなくす 心そえ

熱田町 長野 静子

ひと事と

横向く心が 差別生む

熱田町 日原 隆

我が望み 人も望むと 知る心

宇津井町 藤本 光生

大人から

しめせ差別の ない社会

長浜町 藪内キヌ子

親子でも

人権守って 良い暮らし

長見町 末須ヒサヨ

また、各コンクールにおいて次の方が入選されました。(次の入賞作品は今回の展示に含まれません。浜田市分抜粋)

○島根県人権啓発ポスターコンクール

☆最優秀賞

二中3年 田淵御名子

☆優秀賞

有福小4年 佐々木真智子

東中3年 豊福 夏実

☆入選

松原小6年 山本沙也加

後野小3年 向原 進太

国府小5年 酒井 柚佳

有福小6年 岡田 香奈

一中3年 相坂 俊平

一中3年 舟木 類佳

東中2年 坂本 成美

○松江地方法務局 中学生作文コンテスト

☆佳作

三中3年 柳井 麻里

☆奨励賞

四中3年 小松原果

東中3年 秦 幸子

東中3年 山本明日香

問い合わせ先 人権同和教育啓

発センター(☎内線260)

農林業センサス



農林水産省では、平成17年2月1日現在で、「2005年農林業センサス」を実施します。この調査は、我が国の農林業・農村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

1月中旬から調査員が農林業関係者の人を訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。

問い合わせ先 情報管理課 情報推進係

(☎内線274)